

## 事後評価結果（平成17年度）

担 当 課：西日本高速道路(株) 計画設計チーム  
 担当課長名：大 西 宜 二

|   |                              |  |   |   |            |
|---|------------------------------|--|---|---|------------|
| <b>路線名</b>  | 四国縦貫自動車道<br>(伊予～大洲)          | <b>事業区分</b>                            | 高速自動車国道   | <b>事業主体</b>   | 西日本高速道路(株) |
| <b>起終点</b>  | 自：愛媛県伊予市稲荷字1坪<br>至：愛媛県大洲市東大洲 |  |   | <b>延長</b>   | 31.8 km    |
| <b>事業概要</b>   |                              |  |   |   |            |
| 徳島市を起点とし大洲市に至る総延長222 kmの国土開発幹線自動車道である「四国縦貫自動車道」のうち、伊予ICから大洲ICを暫定2車線で整備を行った。                           |                              |  |   |   |            |
| <b>事業の目的・必要性</b>  |                              |  |   |   |            |
| 四国縦貫自動車道は四国横断自動車道とともに、四国の高速自動車国道ネットワークを形成し、四国各地並びに本四三橋で結ばれた地域との連携を強め、産業・経済・文化の交流促進、社会経済活動の発展に大きく寄与する。 |                              |  |   |   |            |
| <b>事業概要図</b>  |                              |  |   |   |            |
|   |                              |  |   |   |            |
| <b>事業の<br/>効果等</b>  | <b>事業期間</b>                  | 事業化年度: H元年度<br>都市計画決定: S55年度           | 用地着手: H6年度<br>工事着手: H7年度  | 供用年 (計画): H10年度<br>(実績): H12年度  | 変動: 1.2倍   |
|   | <b>事業費</b>                   | 計画時 (名目値): 1,050億円<br>(実質値): 1,072億円   | 実績 (名目値): 1,264億円<br>(実質値): 1,292億円                                 |   | 変動: 1.2倍   |
|   | <b>交通量</b>                   | 計画時: 9,600台/日<br>(平成13年度)              | 実績: 9,500台/日<br>(平成13年度)  |   | 変動: 99%    |
|   | <b>旅行速度向上</b>                | 47.9 km/h (H11年度)<br>65.8 km/h (H17年度) | 交通事故減少<br>(供用前現道 供用後現道+当該路線)<br>93.7 (H11年度)<br>51.9 (H15年度) 件/億台・日 |   |            |
|   | <b>費用便益分析結果 (事後)</b>         | B / C: 3.1                             | 総費用: 1,877億円<br>事業費: 1,635億円<br>維持管理費: 242億円                        | 総便益: 5,819億円<br>走行時間短縮便益: 5,193億円<br>走行経費減少便益: 448億円<br>交通事故減少便益: 178億円 | 基準年: H17年  |
|   | <b>事業遅延によるコスト増</b>           |  | 費用増加額: -  | 便益減少額: 212億円  |            |
| <b>事業遅延の理由</b>  |                              |  |   |   |            |
| 地すべり対策の追加、のり面崩壊対策の追加など  |                              |  |   |   |            |

|                  |  |
|------------------|--|
|                  | <p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <p>港湾へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛（松山以南）～九州間のフェリー便数が開通前と比較して増加<br/>34 便(H11) 44 便(H17) 10 便増加</li> <li>・四国～九州間の自動車航送台数が開通前と比較して増加<br/>593 千台/年(H11) 653 千台/年(H16) 60 千台/年増加</li> </ul> <p>三次医療施設へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大洲市から三次医療施設（愛媛県立中央病院）への時間の短縮<br/>92 分(H11) 68 分(H17) 24 分短縮</li> <li>大洲地区からの救急車管轄外輸送時の高速道路利用率が約 4 割から 9 割以上に上昇</li> </ul> <p>観光地へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内子町の観光地へ訪れる県外からの入込客数が増加。<br/>入込客数 23 万人/年(H11) 43 万人/年(H13) 約 2 倍に上昇<br/>観光客に占める県外者の割合 44.0%(H11) 79.8%(H13) 約 36%上昇</li> </ul> <p>他数項目について効果の発現が見られる。</p> |
|                  | <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>コンビニエンスストアの出店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四国縦貫自動車道開通後に新規にコンビニエンスストアが立地<br/>6店(H11) 15店(H17) 9店出店</li> </ul>  |
| <p>事業による環境変化</p> | <p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>【大気質】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路沿道の一般環境大気測定局の測定データにアセスメント時の高速道路に起因する値を加えても環境保全目標を満足する。<br/>NO<sub>2</sub>：日平均値の年間98%値 0.030～0.035ppm（0.04～0.06ppm以下）<br/>CO：日平均値の年間2%除外値 1.180～1.230ppm（10ppm以下）</li> </ul> <p>【騒音】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境アセスメントで予測した断面について、H16年度平均交通量を用いて再現計算を行い、最も厳しい断面で実測した結果、環境保全目標値を満足する。<br/>実測値：61dB（昼間）（70dB（昼間））（ ）内は環境保全目標値</li> </ul> <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>河川付替を自然石の石積みで行うことにより、動植物の生息環境への配慮を行った。</p>  |
|                  | <p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>愛媛県の県内総生産は事業開始後、全国の増加傾向よりさらに大きな伸びを示していたが、平成8年以降は全国の傾向と同じく、ほぼ横ばいが続いている。</p> <p>沿道地域の人口は事業開始以降減少が続き、市町村によっては平成2年度に比べ、平成16年度が15%近く減少している。</p> <p>愛媛県の道路利用は全国とほぼ同様の傾向であるが、その伸びは全国より高い伸び率で推移している。</p>   |
|                  | <p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>費用対効果分析の結果や利用状況、事業の効果の発現状況から一定の整備効果が得られており、今後の事後評価の必要性はない。</p> <p>今後、四国横断自動車道の延伸供用に伴い、さらに効果が発現されるものと考えられるため、利用状況の変化等について注視していきたい。</p>  |
|                  | <p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <p>特になし</p>  |
|                  | <p>特記事項</p> <p>特になし</p>  |

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。